郡市区等医師会 御中

大阪府医師会(公印省略)

「感染症発生動向情報(第34週)」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供 申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】 大阪府医師会・地域医療 1 課 TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2022年第34週(8月22日~8月28日)

今週のコメント

~手足口病・ヘルパンギーナ~ 手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病・ヘルパンギーナ 増加し

第34週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,341例であり、前週比22.5%増であった。

報告数の第1位はRSウイルス感染症で以下、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の順で、 上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ2.29、1.88、1.57、0.42、0.27である。

RSウイルス感染症は前週比 14%減の452例で、南河内4.13、堺市3.68、泉州3.40、大阪市南部3.06、北河内2.64であった。

感染性胃腸炎は31%増の370例で、中河内3.10、南河内2.94、堺市2.05である。

手足口病は 103%増の310例で、大阪市北部2.71、大阪市西部2.20、三島1.88であった。

ヘルパンギーナは 95%増の82例で、大阪市北部1.43、大阪市西部0.90、泉州0.80である。

流行性角結膜炎は367%増の14例で、三島・南河内・泉州・大阪市南部がいずれも0.50であった。

インフルエンザは13%増の9例で、定点あたり報告数は0.03である。

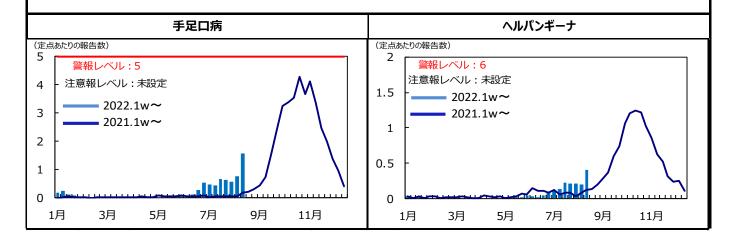


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2022年第34週8月22日~8月28日)

第34週 の順位	第33週 の順位	感染症	2022年 第34週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2021年 第34週の 定点あたり 報告数	2022年第34週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	RSウイルス感染症	2.29	14%減	1.57	1歳_34%
2	2	感染性胃腸炎	1.88	31%增	2.42	1歳_19%
3	3	手足口病	1.57	103%増	0.17	1歳_43%
4	4	ヘルパンギーナ	0.42	95%増	0.12	1歳_40%
5	9	流行性角結膜炎	0.27	367%增	0.31	20歳以上_86%

突発性発しんについて、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとん

~新型コロナウイルス感染症~ 基本的な予防の徹底を(マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避)



第34週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は110,901名であり、前週より20%減少した。現在、大阪モデルは警戒信号(赤)である。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1~14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種、マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。

新型コロナウイルス(COVID-19)関連情報(国立感染症研究所)新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について(大阪健康安全基盤研究所)

新型コロナウイルス感染症関連特設サイト(大阪府)

表 2. 大阪府全数報告数 (2022年 第34週8月22日~8月28日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	數 能	川嶋	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報 告 数 積
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4			1				3		101
4 類感染症	デング熱	1							1		7
	アメーバ赤痢	1						1			30
5 類感染症	急性脳炎	1							1		9
3 規念呆症	後天性免疫不全症候群	1		1							63
	梅毒	4	1		1	1			1		1018
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 110,901 2020年1月以降累計 1,882,39								20年1月以降累計 1,882,391		
結核	結核 新登録患者数:81名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 34名)										
(2022年6月分)	月分) (府内累積報告数 528名、内 肺·喀痰塗抹陽性 194名)										

(2022年8月30日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。 詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。

第34週 2022年8月22日~2022年8月28日 (ブロック別) (年齢別) 年齢 ブロック名 合 計 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 区分 歳 歳 ケ ケ 北河内 泉州 豊能 三島 中河内 南河内 堺市 北部 西部 東部 南部 月 月 歳 歳 歳 歳 歳 歳 か か 歳 小 児 科 未 未 定点数 満 満 上 合計 歳 疾病名 インフルエンサ 疾病名 RSウイルス感染症 R 咽頭結膜熱 咽 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 Α 小 感染性胃腸炎 感 児 科 水痘 水 定 点 把 手 手足口病 握 疾 伝染性紅斑 伝 患 突発性発しん ヘルパンギーナ \wedge 流 流行性耳下腺炎 急性出血性結膜炎 急 握 科 疾定 流行性角結膜炎 流 患点 合 計 合計 細菌性髄膜炎 細 基 幹 無菌性髄膜炎 無 定 点 マイコプラズマ肺炎 マ 把 握 クラミジア肺炎(オウム病を除く) ク 疾 患 感染性胃腸炎(ロタウイルス) イ定 インフルエンザ

(ブロック別) 第34週 2022年8月22日~2022年8月28日

	ツク 万リ)												ı	Ī		1		1	1	r	T 1
	ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08 大阪市	09 大阪市	10 大阪市	11 大阪市	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位 5疾患
	\	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	北部	西部	東部	南部	7 (1)201321	7 1177 1 21	71 1 21	, , , , , , , , , , , ,					順位
	定点数 小 児 科	23	17	25	20	16	19	20	14	10	15	18	84	57	19	12	8		8	197	
	艮 科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基幹		2	2	2	1	2	1		4			7	4	2	1	2	0		16	
疾病	名 インフルエンザ	35	25	40	31	24	29	33	20	15	22	27	131	84	29	18	13	13	13	301	
	RSウイルス感染症	21	▼ 18	▽ 66	△ 16	△ 66	70	68	⊽ 32	▽ 19	21	55	173	▽ 127	70	9	▽ 6	▽ 0	37	452	1
	咽頭結膜熱	▽ 0	▽ 0	0	5	△ 2	△ 2	4	△ 3	△ 2	△ 3	3	△ 6	△ 11	△ 2	▽ 4	▽ 0	▽ 0	0	△ 24	
/J\	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	2	▲ 6	△ 17	△ 3	△ 4	△ 2	△ 3	△ 1	▽ 0	△ 4	7	△ 8	△ 4	△ 16	0	0	△ 5	△ 42	5
児科	感染性胃腸炎	△ 35	▲ 34	38	△ 62	△ 47	△ 39	△ 38	24	17	▽ 5	△ 31	△ 134	77	△ 39	22	16	▲ 9	20	△ 370	2
定点	水痘	▽ 0	0	▼ 2	△ 1	▽ 0	▽ 0	1	0	▽ 0	△ 1	0	▽ 3	1	▽ 0	△ 1	0	▽ 0	▼ 0	▽ 5	
把握	手足口病	△ 35	▲ 32	▲ 37	▲ 22	△ 26	△ 33	▲ 29	△ 38	▲ 22	▽ 8	△ 28	▲ 107	▲ 96	△ 33	▲ 14	A 8	△ 10	▲ 11	▲ 310	3
疾患	伝染性紅斑	△ 3	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	0	△ 3	0	A 3	
	突発性発しん	△ 6	4	6	6	3	0	2	△ 2	▽ 0	A 2	▼ 2	12	6	0	4	△ 1	3	▽ 2	33	
	ヘルパンギーナ	7	A 6	▲ 7	△ 3	△ 5	▽ 3	△ 16	△ 20	△ 9	▽ 3	3	△ 28	△ 35	▽ 3	0	3	A 2	▲ 7	△ 82	4
	流行性耳下腺炎	0	△ 1	2	▽ 0	▽ 0	0	△ 1	0	△ 1	▽ 0	1	▽ 1	2	0	0	△ 1	0	1	6	
把眼握科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疾定患点	流行性角結膜炎	0	△ 2	1	▲ 2	△ 2	0	△ 3	△ 1	0	△ 1	△ 2	△ 7	△ 4	0	0	0	0	▽ 0	△ 14	
	슴 計	△ 107	99	165	△ 134	△ 154	△ 151	△ 164	▲ 123	71	44	△ 129	△ 478	367	△ 151	△ 70	▽ 35	▲ 27	83	△ 1341	
基	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
幹定	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	▽ 0	0		0			0	0	▽ 0	0	0	0	0	▽ 0	
点把	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
握疾	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
患	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	△ 1	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	△ 1	0	0	△ 1	
イ定	インフルエンザ	0	0	▽ 0	0	▽ 4	△ 1	1	0	0	▽ 0	△ 3	▽ 5	△ 3	△ 1	0	0	0	0	9	

全国感染症集計 2022年33週(08月15日~08月21日)

	<u> </u>
1~4類(全数把握)	報告数
エボラ出血熱	(
クリミア・コンゴ出血熱	Ċ
痘そう こうしょう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	(
南米出血熱	
071	_
ペスト	
マールブルグ病	
ラッサ熱	
新型インフルエンザ(A/H1N1)	(
急性灰白髄炎	
結核	203
ジフテリア	(
重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウ	
イルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	
中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス	,
	(
属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	_
鳥インフルエンザ (H5N1)	
鳥インフルエンザ (H7N9)	
コレラ	
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	124
腸チフス	(
パラチフス	(
E型肝炎	6
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	C
A型肝炎	
エキノコックス症	(
黄熱	
オウム病	1
オムスク出血熱	
回帰熱	
キャサヌル森林病	(
Q熱	(
Vボ!	
狂犬病	(
コクシジオイデス症 サル痘	
サル痘	(
ジカウイルス感染症	(
重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウ	`
	3
イルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	
腎症候性出血熱	
西部ウマ脳炎	(
ダニ媒介脳炎	C
炭疽	
チクングニア熱	(
つつが虫病	(
フノルニムが	<u> </u>
デング熱	(
東部ウマ脳炎	(
鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	
ニパウイルス感染症	<u> </u>
· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	() ()
日本紅斑熱	1
日本脳炎	(
ハンタウイルス肺症候群	(
アンテン・Tルスが中央 IR AT IR A	ď
	'
<u>鼻疽</u>	(
ブルセラ症	(
<u>ベネズエラウマ脳炎</u>	ì
ヘンドラウイルス感染症	
発しんチフス	
ボツリヌス症	(
マラリア	
野兎病	
ライム病	1
リッサウイルス感染症	(
リフトバレー熱	
類鼻疽	
類鼻疽	34
類鼻疽 レジオネラ症	34
類鼻疽	34

5類感染症の一部(全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	10
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	27
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウ	9
マ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	9
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 5 7
後天性免疫不全症候群	
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	14
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	1
先天性風しん症候群	0
梅毒	149
播種性クリプトコックス症	1
破傷風	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0
百日咳	1
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	137	0.03
R Sウイルス感染症	4049	1.31
咽頭結膜熱	224	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	561	0.18
感染性胃腸炎	5178	1.67
水 痘	173	0.06
手足口病	8396	2.71
<u> </u>	30	0.01
突発性発しん	650	0.21
ヘルパンギーナ	1556	0.50
流行性耳下腺炎	73	0.02
急性出血性結膜炎	5	0.01
流行性角結膜炎	119	0.17
細菌性髄膜炎	7	0.01
無菌性髄膜炎	2	0.00
マイコプラズマ肺炎	6	0.01
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1	0.00

定点数

是 示奴	
インフルエンザ	4841
小児科	3100
眼科	690
基幹病院	475

7月(月報)

/ 3 (/ 3 T IX /		
性感染症·基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2607	2.65
性器ヘルペスウイルス感染症	765	0.78
尖圭コンジローマ	518	0.53
淋菌感染症	912	0.93
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1158	2.43
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	60	0.13
薬剤耐性緑膿菌感染症	12	0.03
定点数		
STD	982	

基幹病院 477 注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で 若干変更が生じることがあります。